

町田通勤寮だより

NO 97
2023年7月

社会福祉法人つるかわ学園 町田通勤寮

〒194-0045 東京都町田市南成瀬1-5-3

電話 042 (739) 0491

巻頭言

寮長 月岡 亮

うっとうしい梅雨に入り暑い日が続いておりますが、雨が降って気温が下がったり、逆に蒸し暑くジメジメとしたり・・・気候が不安定な梅雨時はストレスや疲労感を感じやすく、体調を崩す方が増える時期です。湿度による熱中症も起こりやすくなります。

また、梅雨の後に夏が来れば、汗によって体温調節がうまくできずこれも熱中症にかかる要因となります。

日本は四季に恵まれた季節をはっきりと感ずることができるとは思いますが季節のストレスに負けないよう、十分配慮した対応を行っていききたいと思います。

毎年、障害関係6団体(東社協、東京都発達障害支援協会、自閉症協会、ダウン症協会、東京都育成会、保護者連絡協議会)にて「東京大集会」を開催しております。この大会は、真の共生社会の実現を目指し、障害当事者など多様な立場の方々からの問題提起を受け、施策提言をしていく場として実施しております。

17回目となる今年のテーマは「生活の場の確保」です。どこで誰と暮らすかは、障害のある無しにかかわらず憲法において保障されている、国民として大切な権利です。人として安心できる暮らし方、多様な暮らし方は、一人ひとり違います。この一人ひとり違う暮らし方、多様な暮らし方を実現するためには、自ら選択できるだけの暮らしの場が必要です。東京都ではグループホームの設置促進施策によって、居住環境の整備はかなり進んできておりますが、大切なことは、本人の意思のもと、多様性の中で生活の場を確保することであり、それを量とともに質を担保した施策として作り上げることが必要です。今回は、障害当事者の方々をはじめとした、多様な立場の方々からの問題提起を受けて施策提言をしていく場として開催します。

(コロナ禍により昨年同様配信で8月26日開催予定)

通勤寮の利用開始から2年後には、次のへのステップとして新たな場所での生活が待っております。多様な選択肢の中から利用者の求めるニーズに答えられるだけの生活環境を、積極的に考えていきたいです。

スマホ講座

支援員 佐々木 宏典

スマホの取り扱いについて、ここ数年私が担当させていただき、講座という形で皆さんにスマホを取り扱う上での注意点などをお伝えしております。

今年は昨年同様、SNS使用時における注意点を今年入寮された方や昨年未受講の方に向けて行いました。高校を卒業されて直ぐの方が多く、反応も様々でした。近年、スマホで撮影した画像や動画の流出により、自分や家族のことが勝手に知れ渡ってしまう、問題無いと思ってネットにあげたものが原因で多くの人に迷惑をかけ、自分自身を追い込んでしまうなんてことが増えております。自分だけでなく、それを見る人や映っている人がどう感じるのか、そこに着目して利用していただけるようになれると良いなと思っております。そして今年も昨年受講された方を対象にまた別の講座を行いました。そちらではスマホにまつわるネットトラブルの一例を挙げ、日頃から周囲にどのような危険が潜んでいるのかをお伝えしました。サロンなどによる高額な悪質請求やSMSから届いたメッセージを利用してAmazonなどのアカウント情報を盗もうとする手口。拡散型の懸賞を利用して知らぬ間に麻薬などの受け子にされてしまう事。など紹介しました。

町田通寮では、利用者さんの年齢が18歳〜24歳あたりが最も多く、ネット利用における詐欺などの対象にされやすい年代です。手帳の有無に関係なく、年齢的に社会経験の不足や判断能力が育っていない時期なので特に狙われやすくなっています。何かおかしいと思ったら、近くの信頼できる人にすぐ相談出来るようになるのと良いと思います。

保健講座

主任支援員 大熊 祐一

6月11日(日)通寮食堂において、保健講座を開催しました。遠藤調理主任を講師として、皆さんの身近にある食品などに関する内容を中心に講義を行い、受講された皆さんは、それぞれ質問をしたり、じっくり資料を読み込むなど意欲的に受講している様子でした。また、今年の保健講座の目玉として、手洗いの重要性を目で確認してもらえよう、ブラックライトを使用した手洗いの実演もしました。体験してみたいと挙手された皆さんに、手洗いのモデルを務めてもらい、手首や指の間、利き手の甲など意識をして洗わないと汚れが残ったり、手首や指の間、利き手が実際に目の前で確認することが出来ました。地域生活を送るうえで欠かす事の出来ない体調管理に関わる食の安全について、入寮1年目の皆さんも、地域移行が間近に迫ってきている2年目の皆さんも良い学習の機会になった事と思います。



身だしなみ講座

支援員 浅田 恵理子

一昨年にも身だしなみ講座を担当し、今年はどうな内容にしよう・・・と考えていた時に「歯ブラシは講座で知ってから毎月交換しているんです。」と卒業された方の言葉をふと思い出し、左記の4つのテーマに決めました。

- ・歯ブラシと歯磨き粉の期限
- ・洗濯洗剤と柔軟剤の違い
- ・布団などの大物はコインランドリーの利用(寮の洗濯機は使わない)
- ・顔や身体、髪などといったものを使っているか

歯ブラシに関しては、替えるタイミングを知らない方が大半で、歯ブラシの毛先が開いて来たら、2〜3週毎に必ず交換をするなど色々な話が聞けました。

洗濯洗剤は、柔軟剤も洗剤だと思っていたという方がおり、正しい使い方を洗濯機へ誘導し洗剤と柔軟剤の投入口があることも説明しました。洗濯洗剤は、シャンプーの役割、柔軟剤はコンディショナーの役割と説明するとわかりやすかったようです。柔軟剤入り、柔軟剤inの言葉に感わされず、表示をしっかりと見て購入していただきたい事を伝えました。

昨年、布団を洗濯機で洗ったと事後報告が2件あり、よく洗濯機が壊れなかったなと驚かされたとのエピソードをお伝えし、成瀬に大型のコインランドリーがあること、どうしても洗いたい場合は、コインランドリーへ案内すると話しました。たまにハンドソープで洗顔、シャンプーで洗体など聞くこともあり、どういったものを使っているのか質問をしてみました。それぞれ目的に合った使い方が出来ているようで安心しました。普段の買い物で、「これが安かったよ」「〇〇のCMで気になっていたから買ってみたよ」と報告の際に、さりげなくチェックして行き

こどもの日メニュー 誕生日メニュー



講座の様子



行事食ご紹介

たいと思います。

調理実習

実習の様子



今後の主な予定

7月15日(土) 性講座

7月22日(土) 納涼会

9月9日(土) テーブルマナー

10月8日(日) 保護者会



6月25日(日)に調理実習を行いました。利用者さんたちは、ナポリタンとサラダを作りました。利用者さんから、“手早く作ることが出来て良かった。”と感想がありました。手料理に優るものはないと実感しました。

編集後記

先日、内部研修で性の多様性とジェンダーについて学習しました。私たちは、どこかでマジョリティとマイノリティの境界線をつくってきたのかもしれない。ダイバーシティ(多様性)とインクルージョン(受容)の考え方が広まって久しい。視点を変え、多様性を理解し、受容することでこの境界線がなくなると信じています。私たち支援者が心がけること、通勤寮でできることを再度、見直す機会にもなりました。(河口)

ご案内

町田通勤寮では、見学のご案内をしております。

関係機関の皆さまの中で、将来の入寮や施設設備などご関心がございましたら、ご遠慮なくお問い合わせいただければ幸いです。

お問い合わせ先

TEL:042-739-0491

通勤寮だよりのバックナンバーは、つるかわ学園公式HPよりご覧になれます。

HP: tsurukawa-gakuen.com

